

京都芸術劇場ニュースレター

募集中!

【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも快く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はさまざまですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
 - ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
 - ③ 当学主催公演など、会員限定の先行販売あり!
 - ④ 春秋座、studio 21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどもご案内!
- 有効期限は入金日より1年間です。更新毎に年会費(2000円)をお納めください。

《入会方法》

Case 1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月～金 10～17時)

Case 2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費2000円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途100円程かかります。)

[口座番号] 00970-7-176517 [加入者名] 京都造形芸術大学 京都芸術劇場
[通信欄] ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④FAX(あれば)
[ご依頼人] お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

【オンライン会員】

登録無料! 24時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!

公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。
(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

劇場へ行ったら、ここにも行く

観劇のお帰りに、開演までのお時間に。劇場周辺も楽しみましょう。

【ガケ書房】



京都造形芸術大学から北白川通を南へ。壁に車が突っ込んだユニークな店構えのこちら。店内には雑誌から書籍、古書、作家による雑貨やCD、DVDまで、とにかく個性あふれるカルチャーがぎっしり詰まっています。大型書店では味わえない、魅力的なセレクトの数々を楽しんでみませんか。

京都市左京区北白川下別当町33 Tel.075-724-0071
営業時間…12:00-22:00 不定休 アクセス…市バス北白川校前、Pあり



チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel. 075-791-8240

営業: 平日10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
京都芸術劇場 春秋座・studio 21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
tel. 075-791-9437 fax. 075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>
E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都芸術劇場ブログ

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>



劇場モバイルサイト

オンラインチケットストア

<http://www.k-pac.org/ticket.html> (パソコンから)
<http://www.k-pac.org/theatre/m/m> (携帯から)

※オンラインでの取り扱いがない公演・券種もございます。



●JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

●京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

●京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。

発行/編集 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター

vol.22

発行日—2012年4月1日

5月12日(土)・13日(日)

伊藤キム ダンスプロジェクト

go-on

～からだの森をゆく～

伊藤キムによるダンスプロジェクト「go-on ～からだの森をゆく」。伊藤キム自身で立ち上げる本格的創作作品としては7年ぶり。劇場公演の枠を超えたパフォーマンスを展開するこの作品についてお話を伺いました。

大学で教えながら学生達を見ていると、大学で用意されているものの中にいて満足するだけではなく、外に出て自身を磨いたり、プロのダンサーと交流することで刺激を得たりする場が必要だと思って。そういう目的もあって、国内外で活躍するダンサー、スタッフ、さらに学生らの力を結集して作品を創ります。

それと学内を歩いていて感じるの「森の中にいるみたい」ということ。木もあるし、階段やエスカレーターがあって学科があちらこちら縦横無尽に存在していて、未だにどこがどこか分からない(笑)。だったら、その森のような空間の中に、美術作品を展示するようにショーケースや彫像台に人間のからだを展示していったらどうだろうと思ったんです。その前をお客さんが行き来する。まるで遊園地みたいな感じにしようと思ったんです。また、芸大だと普通、キャンパスや紙、筆など道具を使って作品を作りますよね。人間のからだは一番身近にある道具。すべての人が共有しています。その身近にある道具を使って作品を作り展示しようというのが第1部です。自分のからだを表現の媒体として作品を作る。

第2部は自分を待っている最後のイベント「死」に向かう「生」について。人って、一人である時よりも人と関係を持っているときの方が生きている、文字通り「生」の実感があります。それは生きる上で外せない切実なこと。人は人間関係に左右される動物なんです。一人きりだと単なる物、単なる物質になっていく。満員電車に乗って身動きができず、ただ立って「物」になっていく感じ。そういうことと「死」とのつながりを作品の中で取り上げられると面白い。物を作る時って切実だと思うことを取り上げないと伝わらないと思うんです。

特集

go-on ～からだの森をゆく～

伊藤キム ダンスプロジェクト—1P・2P

オペラ「月の影」—源氏物語—

源氏物語を基に作られた関西発のオリジナルオペラ—3P

P.P.Pasolini's AFFABLAZIONE 騙り。(かたり)

昨年の『豚小屋』に続き川村毅がパゾリーニに挑む第2弾!—4P



立川志の輔 独演会

構想4年の話題作 京都初上演が決定!—5P

琉球王朝の華「組踊」春秋座公演

独自の歴史が育んだ琉球王朝文化—6P

島田歌穂&島健 DUOコンサート

結成15周年を超えた夫婦デュオの至福のコンサート—7P

伊藤キム ダンスプロジェクト

go-on ~からだの森をゆく~

5月12日(土)・13日(日)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

伊藤キムが7年ぶりに本格的な制作に挑むダンスプロジェクト『go-on』。国内外で活躍するダンサー、スタッフ、そして学生たちが集結し、通常の劇場公演の枠を越えたパフォーマンスを展開、「からだ」の可能性に迫ります。

すべての細胞がふるえ、うごめき、飛びまわる

「からだは現代文明に残された最後の自然だ」と言ったのは、養老孟司だ。私たちのからだは、無機質な「モノ」であると同時に、呼吸し血がめぐりところを宿す有機体でもある。そして最後には死体となって、細胞たちは本当に自然に帰る。

私たちはどこまで「モノ」でいられるのだろうか？ どこまで「ところ」を震わせられるのだろうか？モノとところの境界はどこに？

この公演の第1部は「からだを展示する」、第2部では「生と死のあいだを旅するからだ」というそれぞれのテーマに沿って展開される。

森の中を巡るように、からだという案内人に導かれ、果てしない旅へ、go-on。

——伊藤キム



特設サイト HP—<http://go-on-kim.com> 劇場ウェブサイト <http://www.k-pac.org> twitter @go_on_kim facebook [からだの森をゆく]

伊藤キム (構成・演出・振付)

振付家・ダンサー。1987年、舞踏家・古川あずみに師事。90年ソロ活動を開始。95年ダンスカンパニー「伊藤キム+輝く未来」を結成。96年『生きたまま死んでいるヒトは死んだまま生きているのか?』でフランス・パニョレ国際振付賞を受賞。01年『Close the door, open your mouth』および『激しい庭』で、第一回朝日舞台芸術賞山修司賞を受賞。05年『愛地球博』の前夜祭パレードで総合演出をつとめる。同年、白井剛氏とのデュオ『禁色』(原作・三島由紀夫)を発表。また劇場作品だけでなく、パブリックスペースの階段を使った『階段主義』や、学校や美術館などを使った作品も多い。作品では、根源的なテーマとして「日常の中の非日常性」を、風刺と独特のユーモアを交えて表現している。05年から06年にかけて、バックパックを背負って半年間の世界一周の旅に出る。07年春より「伊藤キム+輝く未来」から「輝く未来」にカンパニー名称を変え、新たな形態で再始動のち11年に解散。08年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。現在、京都造形芸術大学准教授。

参加ダンサー

主に京都と東京から、個々でも多様な活動をするダンサー達が出演！プロのダンサーと共にひとつの作品を創りあげるべく京都造形芸術大学の学生がダンサーとして参加！

伊豆 牧子、伊東 歌織、大谷 悠、小川 敦子、飼鳥 愛、梶原 未由、きたまり、京極 朋彦、keke、佐藤 健太郎、島 崇、竹中代穂也、ミスター、富松 悠、野淵 杏子、花本 有加、松尾 恵美

寺田 みさこ (京都造形芸術大学 舞台芸術学科准教授)

(京都造形芸術大学・学生出演者)

帯金 史、狩野 もも、坂下 七海、坂下 美波、重実 紗果、嶋本 禎子、田居 楓、田嶋 未紗子、田中 沙依、田中 佑香、田淵 詩乃、日種 春華、根本 阿礼、長谷 更紗、塙 健太郎、御厨 亮、村上 広輔、山中 麻里絵 その他

(学生スタッフ)

演出助手: 西村 咲都 照明助手: 和田 聖来
美術製作: 柏木 祐香里、室 諭志、和津田 晴野、星一史、伊藤早希、田 素喜、宮本 美咲
衣裳助手: 伊藤 成美、大井麻友美、加藤 穂月、北村優子
広報制作: 井上 龍馬、高野奈月、田中 雪絵、福田 沙季

源氏物語を基に 尾上和彦 作曲

オペラ「月の影」——源氏物語——

5月26日(土)・27日(日)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

春秋座オペラシリーズの第3弾は「源氏物語」をテーマにした関西発のオペラです。09年宇治初演の名作を関西出身の世界で活躍する歌手達により春秋座バージョンで上演します。作曲家の尾上和彦さんにキャストの魅力についてお話をいただきました。

素直で透きと通った声の西垣俊朗、芝居が明快な北村敏則の光源氏

西垣俊朗君は宗教曲のカンタータ・オラトリオの優れたテナーですが、ロッシーニのオペラもほとんどやっている。オペラには精通しているので光源氏をどう深めてくれるのか楽しみです。北村敏則君はセリフの分析力があり日本語が明確に客席に伝わる珍しい歌手。ヨーロッパの新聞などでも評価されています。

言葉の意味を吟味する田中純、体と声が一体になる五島真澄の頭中将

田中純君はオラトリオのソリストという匂いの強い人ですが、彼も日本語が正確に伝わる歌手。日本歌曲をこれほど歌えるスペシャリストはなかなかいないと思います。五島真澄君はとても若いですが、彼の歌を聴いていると音楽が見えてくるんですね。

詩の分析力がある桐壺・紫上の林田明子

私たち作曲家は詩を解して音楽化しますが、それにほぼ近いぐらい理解がするのが林田明子さん。どの言葉も安心して聴けます。「どこで作曲の勉強したの?」と思うくらい。彼女が歌うと「え?」と思う程明快な歌になりますね。

関西オペラの重鎮、六条御息所の児玉祐子

私がこのオペラの中で一番、描きたいと思ったのは六条御息所です。彼女は闇の世界、苦悩の世界を持っている。それと反対にいるのが紫上だと思うのです。でも、どちらも同じ悲しみを持っている。これはある意味で一对だと思っています。その六条御息所役の児玉祐子さんは丁寧に丁寧に役作りをする人で、役どころの深層心理を見つめることのできる方です。

アンサンブルと重要人物両方をこなす船元泰子と三河紀子

六条御息所とその女房役の船元泰子さん、紫上とその女房役の三河紀子さんの若い2人は、初演ではアンサンブルコロスだったのですが、その後の3年間よく勉強されました。今回、初日はアンサンブルコロスをやって翌日は重要な役である六条御息所、桐壺・紫上で立ちます。

紫式部は女形に挑む竹内直紀、朗読に定評がある廣澤敦子

世界一の長編小説を書いていた紫式部は、すごい女の人だと思うんですね。これは男でも女でもない方がいいかなと思って一度、女形でやろうと。竹内直紀さんには内面は女の人で声は普通のテナーでやってもらおうと思っています。これから女役を仕込んでいくところです。廣澤敦子さんはウィーンの留学先で朗読も学んでいました。独唱と朗読のリサイタルを長年やっていましたので、おまかせして安心です。

世界で活躍する実力派の小濱妙美、愛くるしい歌声が魅力の上野洋子

藤壺は非常に優れた女性ですね。全てに気が配りができて、女らしく聡明な人。何が起きてもあたふたしないんです。この役はどうしても小濱妙美さんにお願いしたかった。彼女はチャイコフスキーコンクールも入賞して、ヨーロッパのオペラ劇場の専属歌手として活躍され、カーネギーホールでリサイタルもしていますね。上野洋子さんはウィーンへ留学してウィーン国立オペラ座の合唱団の専属歌手でした。愛くるしい、カーンと良く鳴るソプラノです。どういう藤壺にしてくれるか楽しみです。



愛の裏に憎しみが眠り、憎しみの底に愛が潜む 和歌をアリアで、現代語訳をレチタティーヴォで表現

物語の中の重要な和歌をアリアにして、その現代語訳をレチタティーヴォ(旋律付き語り)として構成。そのレチタティーヴォを、語部の紫式部と宮中雀の女房たち(コロス)が表現します。女房たちの何人かは重要人物に变身して物語を展開させるのも興味深いところ。作曲家の尾上和彦氏は「もののけ」(心の闇)から書かれたこの壮大な源氏物語をテキストに、人間がもつ哀れを通奏低音として描きたいと語っています。

昨年『豚小屋』に続き
川村毅がパゾリーニに
挑む第2弾！

P.P.Pasolini's AFFABULAZIONE

騙り。(かたり)

4月28日(土)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

川村毅が昨年に続き、イタリアの詩人・映画監督として知られるパゾリーニが遺した戯曲を本邦初翻訳・初演する第2弾。今回は劇詩人パゾリーニが人生を彷徨う〈父〉を描く、美しくも悲しい詩劇を上演します。



まず最初に確認しておきたいのは、日本では映画監督としてのみ知られているパゾリーニは、劇作家であったということです。戯曲を十数本書いていて、代表作の六本がイタリアのパゾリーニ。去年春秋座で上演した『豚小屋』は、そのなかの一本で、六戯曲すべてを上演しようという自論のなかで、なぜこのようなことをわざわざ最初に述べたかといえますと、『豚小屋』上演の際、映画を原作として私が戯曲化したと勘違いされている方が少なからずいたからです。『豚小屋』が映画になっているせいもありましょう。パゾリーニは映画と並行して同じ主題で戯曲を書き上げていたのです。

詩人、小説家であるとともに全集に収められています。一卷です。

川村 毅
(演出家・京都造形芸術大学舞台芸術学教授)

『騙り。』について

さて今回の『騙り。』は、ちょうど『豚小屋』とコインの裏表の関係にあります。書かれた時期もほぼ同じ頃であり、映画の『豚小屋』の撮影と同じ年に詩劇として発表されています。『豚小屋』が息子の視点から書かれたものだとすると、『騙り。』は父の視点です。息子の父殺しは、言うまでもなくオイディプスの物語であり、パゾリーニはオイディプスに自身を仮託して『アポロンの地獄』という映画を撮り、臆面もなく母への愛を謳い上げています。『騙り。』においては、『豚小屋』の息子と父の視点の反転のみならず、オイディプスの神話の逆転も仕掛けられています。

父の息子殺しです。この殺人において、父が見る息子は単なる血縁上の子供に止まらず、王の幻に見えたり、同性愛の対象として映ったり、果ては神となって現れたりもする。あるいは、一切は父自身の分身、影なのかも知れないとも読み取れます。難しそうですね。だが、尻込みせずに見に来てください。パゾリーニ自身、自分の詩劇は理解するより感じて欲しいと述べています。そう、これは視覚的・聴覚的・触覚に満ちた感じる舞台です。美しい舞台を作ろうと思っています。どうかパゾリーニの思想を感じてください！

P.P.Pasolini's PORCILE『豚小屋』2011年6月 京都芸術劇場 春秋座 舞台上
Photo: SHIMIZU Toshihiro

パゾリーニは私たちによく似ている

フィクションを産み出すアーティストとは、究極の真実を求める人種だと思ふ…お仕着せの現実ではなくて。パゾリーニは、ナイーブなまでにリアルを追い求めた人で、純粋に詩を読むために自分では喋れない母の母語を選んだり、カメラを真正面に据えてマリア様の処女懐胎からSMやウンコに至るまで大真面目に撮ったり。それゆえに、悲しいまでに誤解された。

彼にまつわる誤解も熱狂も忘れさった今こそ、ごく普通にパゾリーニと向き合える時がやってきたのではないかと。死んでから35年以

上経って、今ようやく「パゾリーニは生きていた」と言えるのだ。詩、映画、評論、演劇・様々なジャンルを放浪して、手を替え品を替えリアルを求め続けたパゾリーニ。同じように私たちも、混沌を深める世界で、また3.11以降、何もかもが文字通り揺らぐこの国で、手を替え品を替えリアルを求めている。だからこそ今、あなたの感性でパゾリーニに出会って欲しい。パゾリーニは私たちによく似ている。

大野 裕之
(劇団としても便利・「パゾリーニ・ルネサンス」編者)

これを読んで観に行こう！



「パゾリーニ・ルネサンス」
217頁 1890円
とっても便利出版部

政治・セクシュアリティ・宗教・イタリア…孤高の詩人にして映画作家パゾリーニを読み解く。

著者／四方田大彦・浅田彰・和田忠彦・田中千世子・土肥秀行・石田美紀・大野裕之／大島渚／ビエル・パオロ・パゾリーニ
編集／大野裕之

関連企画 トーク「生きているパゾリーニ」

川村毅と「パゾリーニ・ルネサンス」の仕掛け人・大野裕之氏、『豚小屋』から『騙り。』へとパゾリーニの台詞を体現、発語する天才俳優・手塚とおる氏が縦横無尽にパゾリーニを語ります。映画、演劇、小説、詩、社会評論とパゾリーニに関わった事象は広大だから、自然、話もどこに飛ぶかわからない。チャップリンが、ゴダールが、グラムシが、フェリーニが、ロンギが、モランディが、登場してしまうかも知れません。乞うご期待！

日時：2012年4月12日(木) 18:00～ 京都造形芸術大学内にて
受付：当日17:40～ 春秋座入口前 無料(要事前申込み)
お申込み：京都芸術劇場チケットセンターまたは劇場HPより



川村 毅



手塚 とおる



大野 裕之

構想4年の話題作 京都初公演が決定！ これぞ志の輔らくごの真髓…

立川志の輔 独演会

5月19日(土)・20日(日)

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

今年で4回目となった春秋座恒例『立川志の輔独演会』。昨年の古典大作に続き、自身による創作落語「大河への道」一伊能忠敬物語一を上演します。今年も志の輔らくごの魅力をとくとお楽しみください。

真の志 知性を感じさせる品の良い落語

志の輔さんほど新聞を読み、読書をする落語家はいないのではないか？前振り(つかみ)に出てくるネタは、政治、経済、科学、文化、スポーツ、あらゆるジャンルから取り上げられている。その観察力は鋭く、聴くものの意表を突く。「そう言えばそうだよな」と納得しつつ笑わせられるのだ。だからと言って、利口ぶって知識をひけらかすわけではない。一人で突っ込みとボケを絶妙のバランスで演じる。これが知性を感じさせる気持ちのいい笑いに通じるのだろう。また、志の輔さんは絶対と言っていい位、下ネタを言わない。危ないと思った時でもさりと交わす。間違っても、女性が眉をひそめるような言い方はしない。何処かにお洒落な感じがある。それが志の輔さんのセンスなのだ。

聴衆を噺の世界へ誘う 話術

志の輔さんが、前振り(つかみ)から本題に入る時ぴっくりさせられた人はいないだろうか？何の前触れもなく突然スイッチオンされるタイミングの良さにはいつも感心させられる。そして一度話の中の登場人物が現れると、志の輔さん本人が消えてしまう。落語家が喋っているのではなく、まるで芝居を見ている感覚になる。演劇をやっていた志の輔さん特有の一人芝居風落語である。時には講談っぽいやつもあり、シリアスな緊張感を生み出す。そうかと思うと、ドツと笑いを取る。そのメリハリが魅力である。引っ張られたり、突き放されたりしながら、いつしか瞬きもせず、志の輔ワールドに引き込まれていく。正しく志の輔さんの話術のせいだろう。それに、登場人物になりきった志の輔さんの表情には、落語ではめつたに見られない迫力がある。志の輔さんは名優でもあるのだ。

真の夢 古典と新作、共に魅せる

かつて「志の輔さんは落語界の市川猿之助」とご本人に言ったことがある。確かに「現代に生きる芸能として、スピード、サスペンス、ストーリーを重視。退屈させず、感動させるものを創りたい」という姿勢には共通するものがある。志の輔さんと春秋座の相性がいいのは、猿之助氏の思いが込められた劇場であるからかも知れない。志の輔さんが、新作についてはいつも話芸に固執することなく、観客を楽しませる演出をしているのも気持は一緒なのだろう。一方、古典については、守るべきところはきちんと守り、現代に生きていけるものにしようという配慮が伺える。古典であろうが新作であろうが、落語の強みは最終的に大道具にも、照明にも頼らず、身体ひとつで話芸を披露するところにあることを、志の輔さんは充分承知しているのである。

今年の演目「大河への道」見どころ・聴きどころ

昨年、東京のバルコ劇場で約1ヶ月間上演され大好評を博した演目。志の輔さんが4年間かけて作り上げた創作落語だが、大作故に何処でも気楽にやれる作品ではない。しかし「中村仲蔵」と同じように春秋座にはびつたりの演目であると、無理を承知で「ぜひ春秋座で」とリクエストしたところ、数ヶ月後にやっとOKが出た。たった1人で2時間語りっぱなし。しかも、笑わせ、泣かせ、感動させる名作をお見逃しなく！

立川志の輔さんの魅力

橋 市郎
(舞台芸術研究センター プロデューサー)



立川流とは

昨年11月、惜しまれつつ亡くなった7代目(自称5代目)立川談志により1983年、創立された落語会。寄席には出演せず、劇場やホールでの公演や独演会を主な活動場所としている。

独自の歴史が育んだ琉球王朝文化——くみおどり

琉球王朝の華「組踊」春秋座公演

人気公開講座「日本芸能史」に昨年出演し大変好評を博した「琉球舞踊」。今年は昨年につづく豪華出演陣による伝統音楽劇「組踊」を披露します。

組踊とは、 唱え（セリフ）と音楽、所作、踊りにより構成される、琉球時代の伝統音楽劇です。琉球王の代が替わるたび、新国王任命のために訪れる中国皇帝の使いである冊封使をもてなすため、十八世紀初頭の踊奉行・玉城朝薫により創作されました。朝薫は、薩摩・江戸へ複数回のばり能や歌舞伎などの芸能に触れて造形を深め、琉球古来の芸能や故事を基礎として、琉球の音楽をふんだんに取り入れて組踊を創作しました。担い手は宮廷の士族で、すべて男性だけで演じられました。

昭和47年5月、沖縄が日本へ復帰すると同時に国の重要無形文化財に指定され、また、独特で優れたその芸術性から、平成22年にユネスコの無形文化遺産に登録されました。

演目

「手水の縁」——
文学者でもあった平敷屋朝敏の作。忠孝の物語が多い組踊レパートリーの中、男女の一念な愛を描いた作品で、劇中に美しい音楽がちりばめられていることから人気の作品。



「女物狂」——
能「隅田川」に題材をとった作品で、組踊の創始者・玉城朝薫の作。子供を失った母親の物狂いを叙情豊かに描く。主役の母役は、宮城能鳳。

両演目ともに歌・三線の演奏を、西江喜春が務める。



解説：茂木仁史（国立演芸場プロデューサー）
聞き手：田口章子（京都造形芸術大学教授）

6月9日（土）

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

組踊の見どころ その1 — 女方 —

能を参考として首里城で完成された独特の演技は、静謐でダイナミック。殊に女方は「肉に骨を付ける」といい、柔らかさの中にもキリッとした芯がある、凛とした美しさが魅力です。宮城能鳳は、人間国宝に指定される女方の第一人者。首里の士族たちの伝統を今日に伝えます。



組踊の見どころ その2 — 衣装 —

組踊が生まれた十八世紀には、沖縄を代表する文化が多く生まれています。「びん型」と呼ばれる染色技法もその一つで、琉球王府時代には士族階級以上でなければ、びん型装束の着用が許されませんでした。組踊に登場する女性の役は、当時の最先端であるびん型をまとい、観客の目を楽しませます。



組踊の見どころ その3 — 歌と音楽 —

琉球音階による美しい歌と三線演奏が多用され、「唱え」と呼ばれるセリフもまた流麗で音楽的。そのため、「組踊は聴くもの」とも言われます。本公演では、歌・三線奏者、西江喜春を招きます。しっとりとした艶やかな声は鈴色の歌声とも絶賛され、2011年に人間国宝に指定されました。

さらに「組踊」の知識を深めて鑑賞しよう。関連レクチャー開催！

「はじめての琉球芸能」

講師：茂木仁史（国立演芸場プロデューサー）
特別ゲスト：西江喜春（歌・三線奏者）

日時：2012年5月14日（月）14:30～15:30
京都芸術劇場 春秋座 無料（要事前申込み）
お申込み：京都芸術劇場チケットセンター
TEL：075-791-8240（平日10時～17時）

琉球王朝時代に宮廷で生まれた音楽と舞踊、そして「組踊」という珠玉の音楽劇についての講座です。講師は国立劇場で伝統芸能のプロデュースにあたる茂木仁史、特別講師として歌・三線奏者の人間国宝・西江喜春をゲストに迎え、基調講演と楽しいお話、ビデオや写真に実演も交え、解りやすく琉球芸能の世界をご案内します。

結成15周年を超えた夫婦デュオの至福のコンサート

島田歌穂 & 島健 DUO コンサート

4月14日（土）

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

春秋座が土曜の夕暮れにお届けする大人が楽しめるデュオ・コンサートです。ミュージカル界で世界的に評価の高い女優の島田歌穂と、日本を代表するピアニスト・島健の夫婦によるアコースティックコンサートは、1995年の活動開始以来15年間、全国200か所以上で公演し好評を博しました。

ジャズ、ポップス、ミュージカルから民謡に至るまで、夫婦だからこそお互いの魅力を最大限に引き出し、聴く人すべてを魅了するコンサート。ご夫婦、ご家族、恋人や友達とコンサートを楽しんだ後に劇場周辺のレストランへ食事に行くのはいかがでしょうか。

演奏曲目

I Love You（作詞・作曲：尾崎豊）
On My Own（「レ・ミゼラブル」より）
ハナミズキ（作詞：青森、作曲：マシコタツロウ）
Memory（「キャッツ」より）
新相馬節（福島県相馬地方の民謡より） 他
※曲目は変更する可能性があります。ご了承下さい。



一緒に音楽をやっている、やはり夫婦だなど思うのは「あ・うん」の呼吸のようなものを感じたとき。
— 島健（ピアニスト／作・編曲家／プロデューサー）

音楽について、本当に率直に忌憚なく意見を交わし合えること。
— 島田歌穂（女優）

島田歌穂さん、島健さんご夫婦にアンケート

- デュオを組もうと思ったきっかけは？
島：歌穂さんのプロデューサーの提案で。
島田：結婚とほぼ同時に「やってみようか…」と始めました。
- 実際に組んでみて、いかがでしたか？
島：最初はピアノ一本の伴奏では飽きられてしまうのではと、ちょっと不安でしたが、やってみるとピアノ一本だからその自由さがあり、だんだん面白くなってきました。
島田：ピアノとヴォーカル。究極にシンプルな形で、いかに幅広いジャンルを、いかに自分たちのスタイルで深く表現していけるか…。1曲1曲がすごく楽しい挑戦です。
- 夫婦で同じ舞台上に立っていて、良かったと思うことは？
島：やはり「あ・うん」の呼吸を感じたときです。
島田：「あ・うん」の呼吸でしょうか。一緒に何かを作りだしていけることの幸せにいつも感謝しています。ホントです。
- 夫婦で舞台上に立つことで、やりにくいなあと思うことは？
島：全くありません。 島田：ありません。ホントです。
- 相手を動物に例えるなら？
島：干支がうさぎなので、ちょっとしっかりしたうさぎかな。
島田：ナマケモノの気ぐるみを着たトラ。

舞台芸術 16 近日発売!!

定価 1500円（税別）

特集——
マラルメ、ジュネ、パゾリーニを〈横断〉する

ジャン・ジュネ生誕100年記念シンポジウム
「変貌するジュネ」採録
【翻訳】フレッチマンへの11通の手紙 ジャン・ジュネ

マラルメ・プロジェクト パゾリーニ・プロジェクト
【上演台本】『イジチュール』の夜、他 【戯曲】「豚小屋」ピエロ・パオロ・パゾリーニ、他

【対談】新しい「劇場＝演劇」のかたち 松本雄吉（維新派主宰）×松田正隆（マレピトの会主宰）



企画編集：
京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター
発行：角川学芸出版

2012年度 公開連続講座 日本芸能史 芸能史の中世

中世を知らずに日本芸能史は語れない —東アジアの大変動と連動した日本芸能史の革新—

日本の中世は精神文化の革新時代です。新しく、鎌倉仏教、神道各派、学問、文芸、そして、芸能や芸道がこの時代に誕生、活動を始めました。12世紀から13世紀、東アジアは激動の時代を迎え、中国や朝鮮で古代が終わりました。その影響下、日本の古代も終わって中世が開始されました。日本の芸能史はその激動のなかで変革をとげました。中世を知らずに日本芸能史を語ることはできません。

企画・コーディネーター：田口章子

(京都造形芸術大学 教授／舞台芸術研究センター主任研究員)



壬生狂言 2011年度日本芸能史より



尾張万歳 2009年春秋座「三つの芸能で楽しむ(お軽・勘平)」より 撮影：清水俊洋 石見神楽 2011年度日本芸能史より

会場：春秋座 毎月曜日 16:30—17:50

受講料：前期・後期 各13000円

◎お問い合わせ・資料請求先

京都造形芸術大学 瓜生山エクステンションセンター

Tel.075-791-9124 Fax.075-791-9021

受付／平日：9時—17時

(土曜：～16時、休：日曜日・祝日、入試実施日、年末・年始)

前期【芸能史の中世1】

1. 4月9日	総論 中世の精神革命	諏訪春雄
2. 4月16日	茶・花・香	理論：村井康彦
3. 4月23日	闘茶	実演：筒井紘一・麴谷宏
4. 5月7日	華道	実演：佐野珠寶
5. 5月14日	香道	実演：山田英夫
6. 5月21日	聲明	実演：天台宗総本山 比叡山延暦寺 法儀音律研究部 解説：木戸敏郎
7. 5月28日	能・狂言	理論：諏訪春雄
8. 6月4日	能	実演：片山九郎右衛門
9. 6月11日	狂言	実演：茂山良暢
10. 6月18日	方相氏	実演：平安神宮
11. 6月25日	音曲	理論：木戸敏郎
12. 7月2日	平曲	実演：今井勉
13. 7月9日	壬生狂言	実演：壬生大念仏講

後期【芸能史の中世2】

1. 10月1日	総論 中世の芸能革命	諏訪春雄
2. 10月15日	舞楽	実演：天王寺楽所雅亮会 解説：木戸敏郎
3. 10月22日	御神楽	実演：伏見稻荷大社 解説：木戸敏郎
4. 10月29日	石見神楽	実演： 石見神楽温泉津舞子連中
5. 11月5日	精進料理	理論：棚橋俊夫
6. 11月12日	絵解き	理論：林雅彦
7. 11月19日	尾張万歳	実演：尾張万歳保存会 北川幸太郎
8. 11月26日	芸能の場 山・広場・舞台	理論：諏訪春雄
9. 12月3日	説経浄瑠璃	実演：若松若太夫
10. 12月10日	連歌	理論：近藤藤肝
11. 12月17日	講談	実演：宝井馬琴
12. 1月7日	京の祇園会と町衆	理論：川嶋将生
13. 1月21日	京舞	実演：井上八千代